

千代田インテグレグループ 中期経営計画(2022-2024)

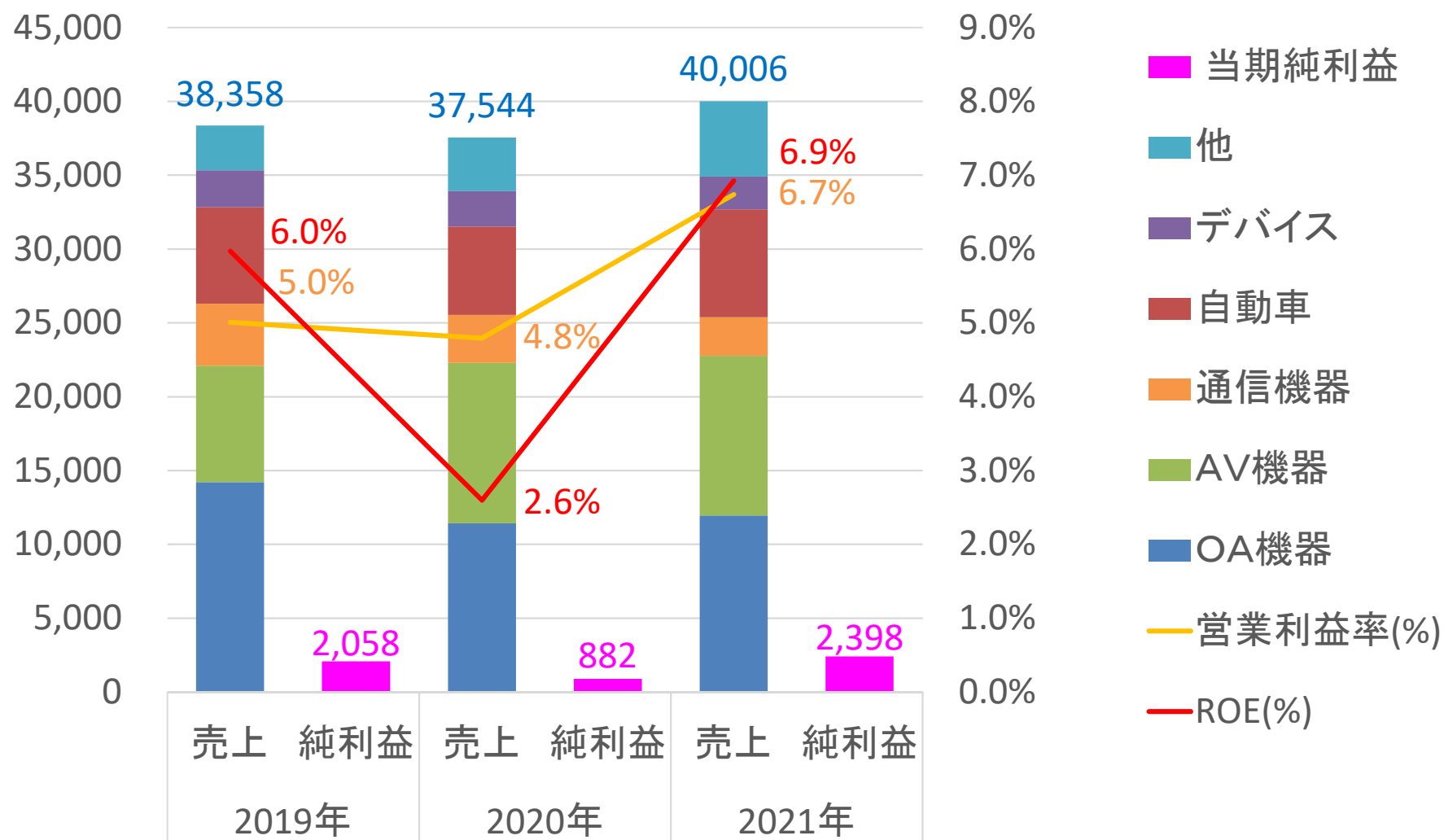
2022年2月14日

前中期経営計画(2019-2021)の総括



(百万円)

(想定為替レート: 1\$ = 108円)



1. コア技術であるソフトプレスを柱とした真のグローバル企業を目指す

2. 中期経営計画(2022-2024)の位置付け
事業領域の転換を果たすための3年間とする

- ① 拡大成長領域：自動車
- ② 安定維持領域：OA機器
- ③ 変化対応領域：AV機器、通信機器、デバイス

3. 当社グループ事業戦略の中核である製造拠点を、アジア中心から欧米エリアにも順次展開する

4. ステークホルダーとの良好な関係構築に努め、継続的な企業価値の増大を目指す

当社グループの中核戦略



コア技術「ソフトプレス」

「現地工場」自体が商品

顧客にとっての「当社現地工場の価値」により進出・撤退

進出と撤退には経験と資金力が必要

メーカーとしての
供給責任実績

信用力

資金力

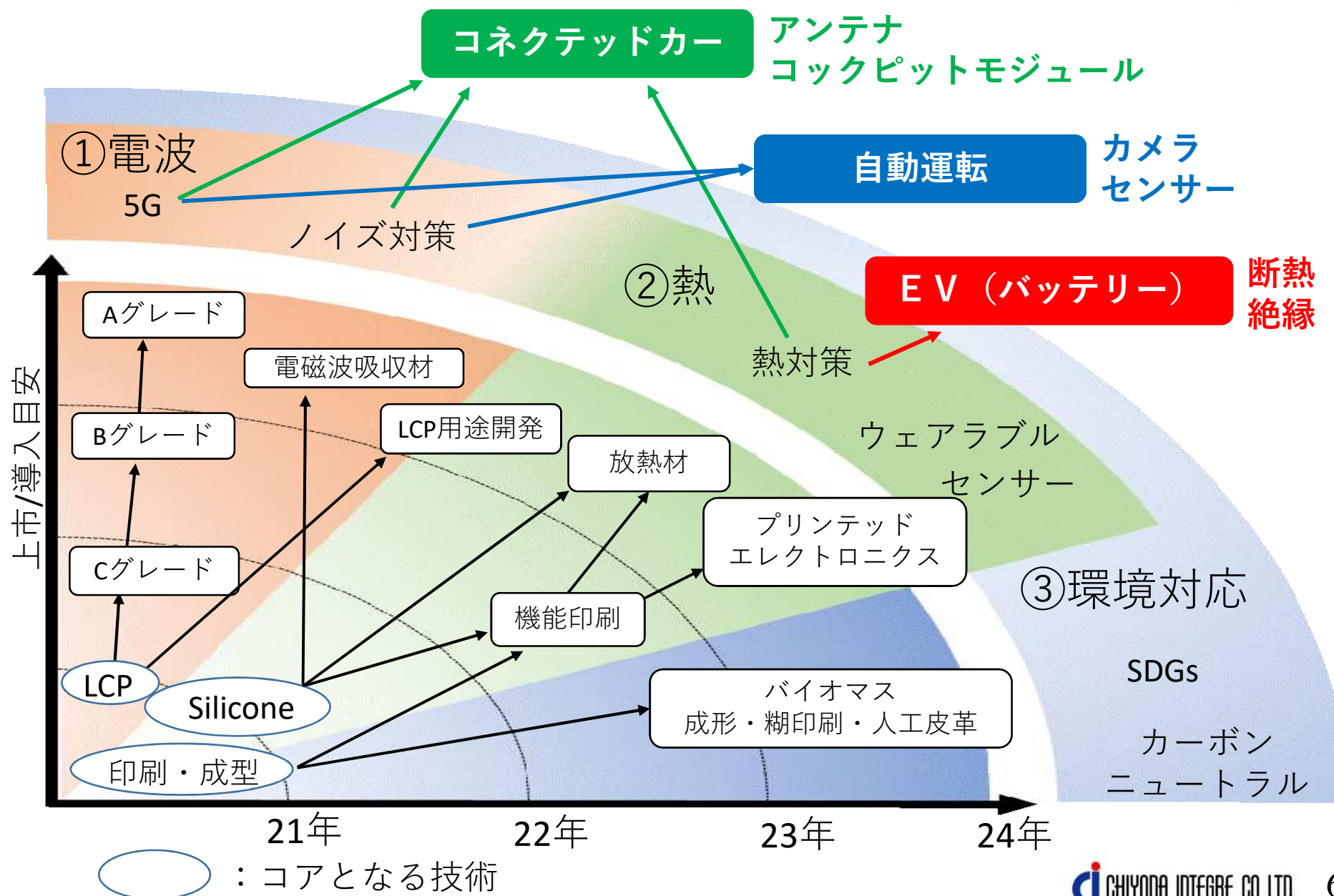
外資系顧客や変化対応領域でのトレーディングビジネスにも参入

戦略①：顧客からのオファー等に基づいて進出する

戦略②：顧客あるいは競合他社より先に進出し、待ち受ける

	メリット	デメリット	拠点例
戦略①	進出直後の受注が確保できる	競合他社が既に進出していることが多い	タイ フィリピン 中国
戦略②	サプライチェーンが未完成のため、独占化・寡占化が可能で、利益確保に適す	進出直後の受注が保証されていない	ベトナム メキシコ

先行者利益だけでなく、財務体力による残存者利益も視野



人事システム

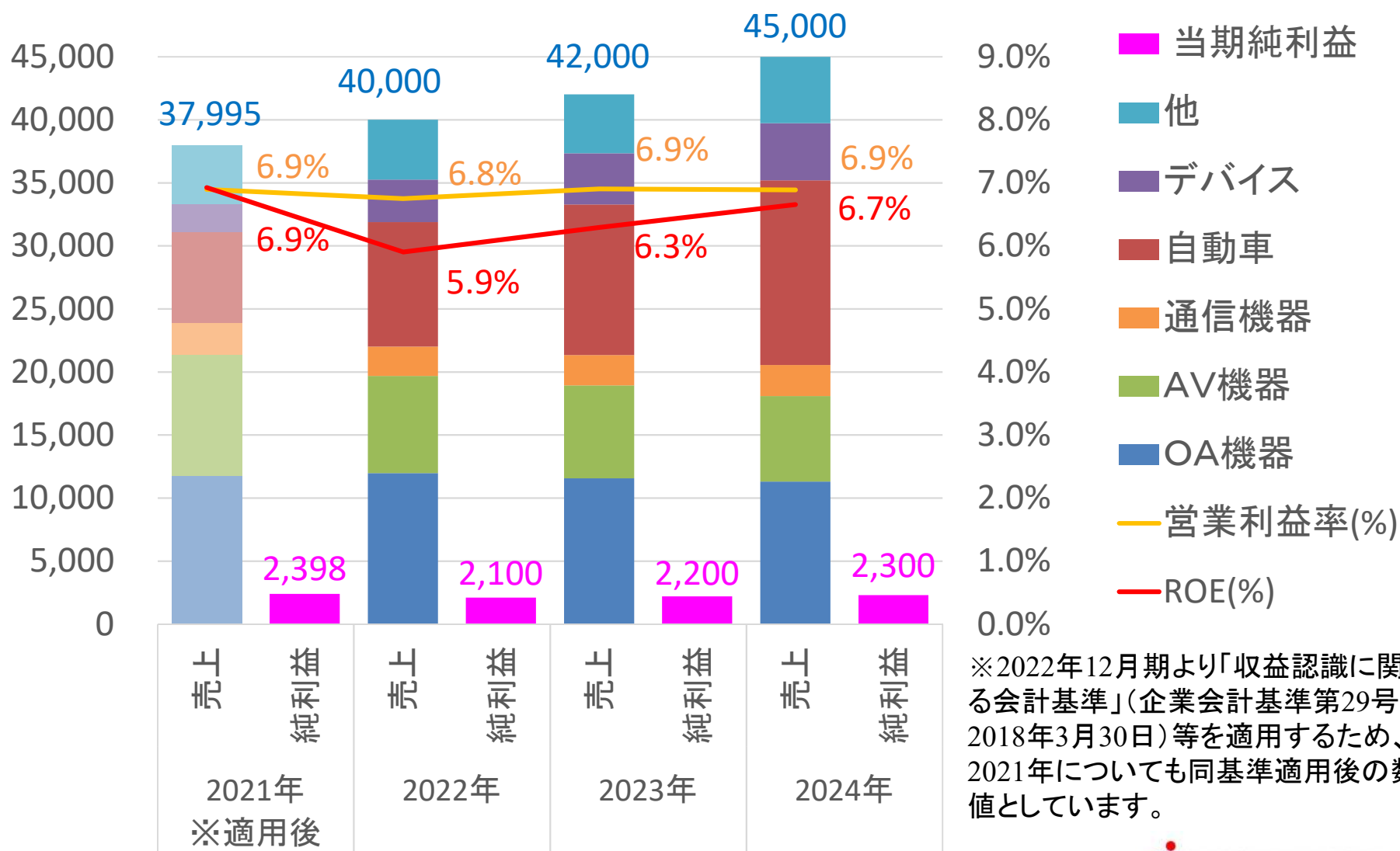
- ① 従来の「ゼネラリスト」主体の人事制度から専門技術・専門営業といった「スペシャリスト」への分化も可能にした複合型人事制度への移行
- ② 「個性を生かす」「長所を伸ばす」「楽しく仕事に取り組める」を基軸とした「ワークエンゲージメント」と「従業員エンゲージメント」の両立による組織力強化
- ③ 「世代」の違いを意識した成果主義に基づく人材育成体系の深耕

連結業績計画



(百万円)

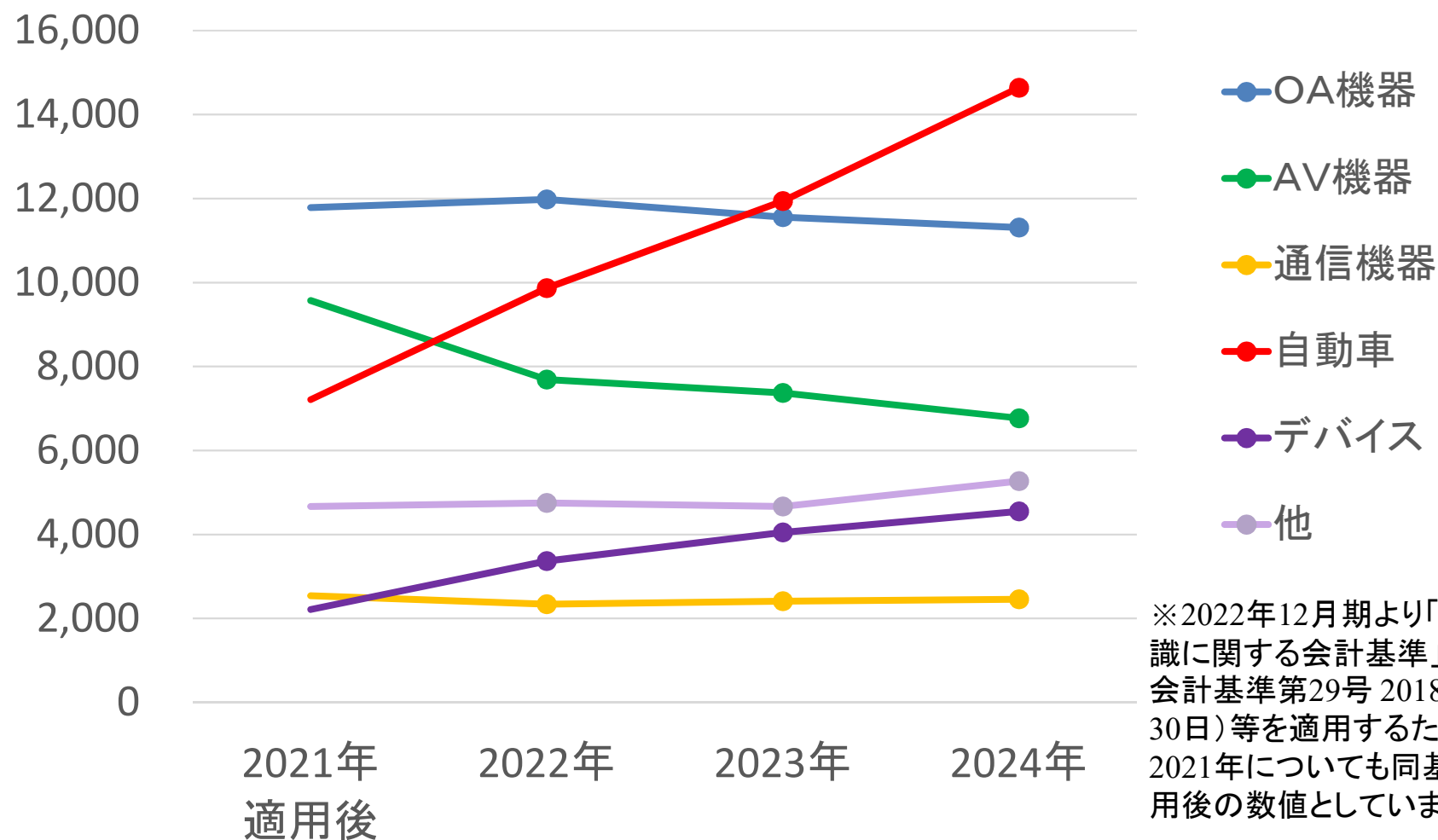
(想定為替レート: 1\$ = 108円)



連結業種別目標

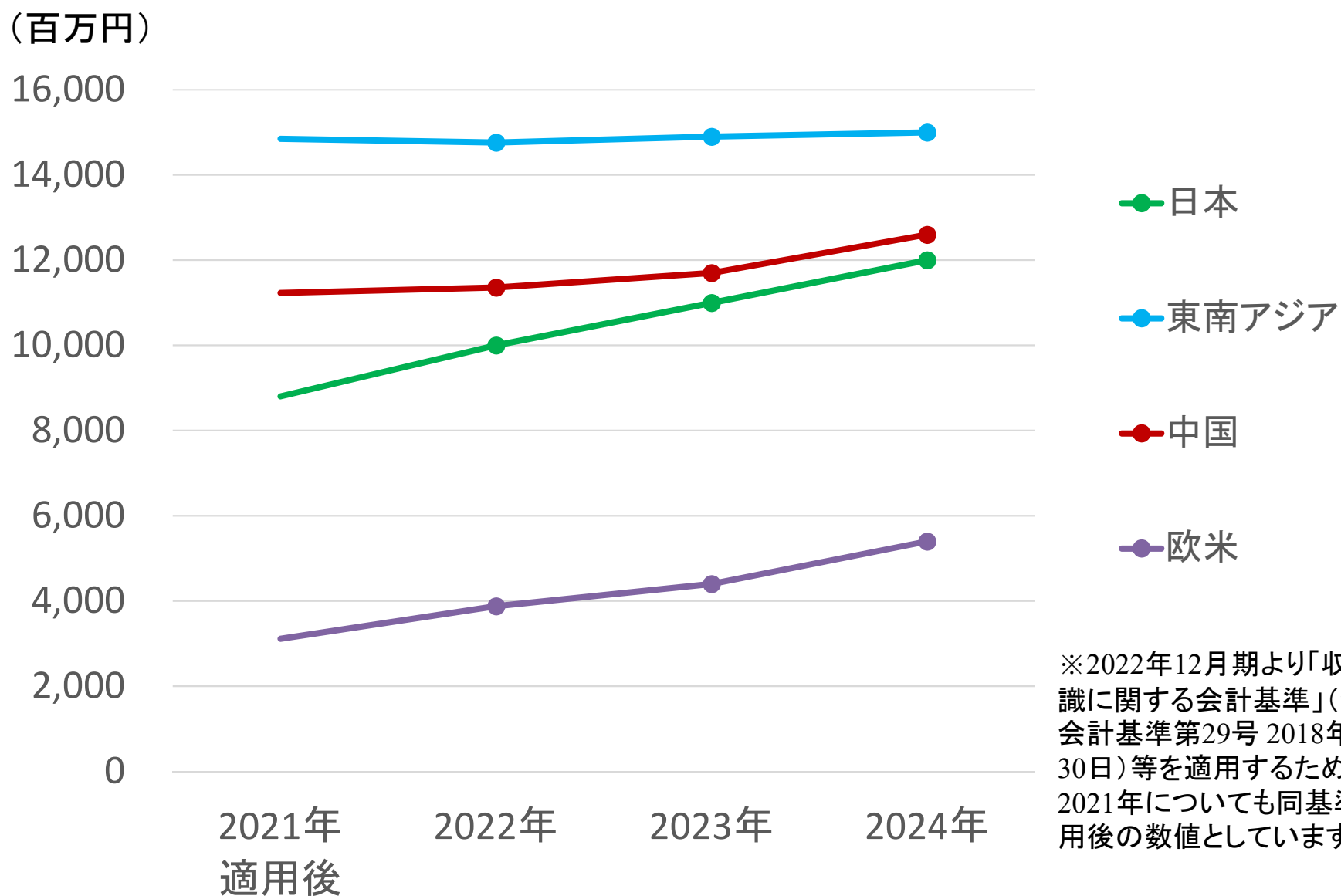


(百万円)

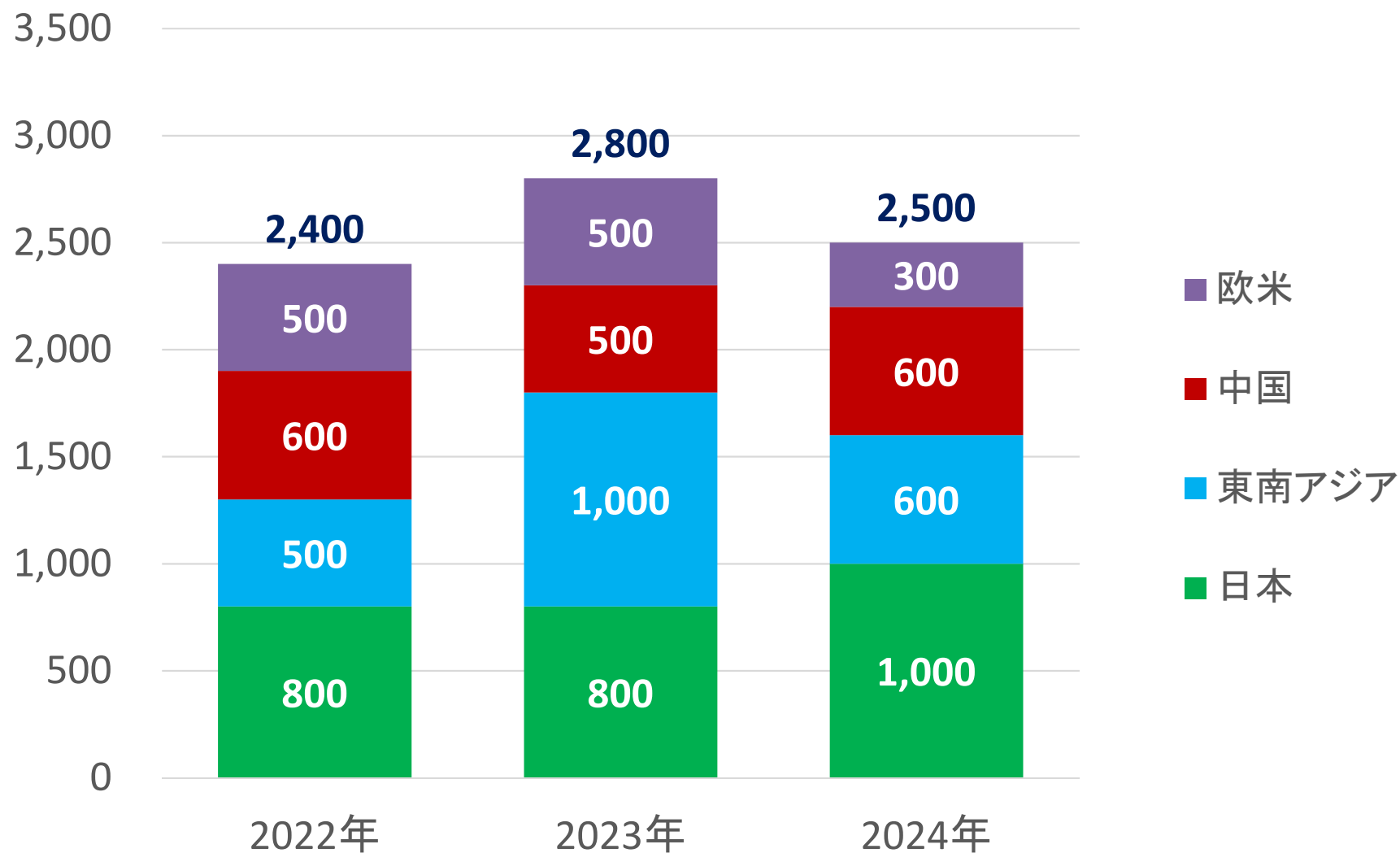


※2022年12月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2018年3月30日)等を適用するため、2021年についても同基準適用後の数値としています。

連結エリア別目標



(百万円)



＜利益配分に関する基本方針＞

2022年12月期から2024年12月期までの3期について、自己資本利益率(ROE)向上を意識し、

- ① 配当性向は50%以上を目処
- ② 株価水準や市場環境等を勘案しながら、総還元性向120%を目処とした自己株式の取得を機動的に実施

ご注意

当資料に記載されている、当社（千代田インテグレ株式会社、および当社グループ）に関する計画、業績見通し、戦略等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことから、当資料に全面的に依拠することはお控えくださいますよう、お願い致します。また、無断転載・転用はお断り致します。

